

TOYOHASHI CITY

獣医師採用案内 2027



豊橋市制施行120周年



業務概要

配属先



主な配属先は3か所あり、市内中心部から車で30分程度の距離にあり、住宅購入などの将来設計がしやすいです。

都会と田舎のハイブリッド＆穏やかでやさしい人柄
ちょうどいいまち **豊橋** においでん！

豊橋市の概要

東三河の中心都市として発展

■人口：約37万人

■風土：豊かな自然と温暖な気候

サーフィンのできる太平洋に面し、ウミガメの産卵で知られる表浜海岸あり山にも海にも、市内から30分で行ける

■交通：新幹線停車駅ありアクセス抜群

東京、大阪から新幹線で2時間以内
名古屋まで新幹線で30分、JR・名鉄で1時間

■産業：日本トップクラスの産出額を誇る農業（R5）
ウズラ1位、キャベツ3位、トマト6位、柿10位、豚24位

■名産品：ちくわ、うずら卵、筆、大葉、カレーうどん

■その他：手筒花火、路面電車、豊橋総合動植物公園
大好評！まちなか図書館、ドラマ・映画ロケ



豊橋市の人材育成基本指針

目指すべき職員像

- 想像力に富み、自ら判断し、責任を持って行動できる職員
- 変革を恐れず、新しいことに対し積極的に挑戦する職員
- 互いの価値観を尊重し、組織全体の成長を促すことができる職員
- 多様化するニーズや時代の変化をとらえ、市民に信頼される職員
- 市民感覚、経営感覚を持ち、効果的・効率的に業務を遂行する職員

描いた未来が、誰かの今日になる。

健康部 保健所

生活衛生課（所属獣医師 13名）

監視・審査グループ

食品営業施設、食品製造工場等への許認可、監視指導、食中毒調査や、理容・美容・クリーニング業等の環境衛生施設への監視指導行っています。

試験検査グループ

市民や事業者からの依頼により、食品・糞便・井戸水等の検査を行うとともに、食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づく行政検査を実施しています。



動物愛護センター「あいくる」本格稼働！



令和7年10月1日に開所した動物愛護センター「あいくる」を拠点に、動物愛護管理に関する普及啓発や地域猫活動の支援、狂犬病予防法に基づく犬の登録事務、保護動物の譲渡推進など、人と

動物が共生する住みよいまちづくりを目指した取組みを進めています。あいくるでは、不妊去勢手術や保護動物の検査・診療のほか、施設を利用したふれあい教室や譲渡会など、様々な取組みを行っています。動物愛護に関する取組みを一緒に実践しましょう！



先輩職員より

動物愛護センター「あいくる」の新しい取り組みが楽しみ！

私は、昨年の春から譲渡推進グループでお世話になっています。狂犬病予防法に則った事務手続きのほか、動物の愛護及び管理に関する啓発活動、収容された犬猫の健康管理・検査・治療、譲渡に向けた講習会や譲渡会の開催、地域猫の不妊去勢手術などを行っています。まだまだ窓口や電話対応で戸惑うことも多いですが、少しずつできることを増やしていこうと日々業務に取り組んでいます。動物愛護センターは、これから様々な新しい取り組みを実践しようと計画してます。一緒に新しい取り組みを楽しんで実践してくれる仲間をお待ちしています！

北村 晃子（入庁2年目）

保健医療企画課（所属獣医師 3名）

感染症・健康危機管理のエキスパート！

インフルエンザや麻しんなど感染症発生時の疫学調査や迅速に対応するための計画の策定、さらには災害時の衛生対策まで、幅広い分野の業務にあたります。目に見えない脅威から人々の命を支える公衆衛生の司令塔です！

食肉衛生検査所（所属獣医師 17名）

最前線で獣医学を生かす

獣医師しかできない「と畜検査」で家畜の疾病・異常を排除するとともに、有害残留物質や微生物の検査を行うことで安全で衛生的な食肉の提供に努めています。

畜産の盛んな地域にある強み

検査頭数（R7年度牛7,710頭、豚215,084頭）は、東海北陸地方でトップクラスです。畜産の盛んな地元の生産地からの家畜の受け皿になっており、珍しい症例にも数多く遭遇できます。生産者への検査結果のフィードバックに加え、臨床獣医師との情報交換会や家畜保健衛生所との連絡会議など、他団体との連携を密に行っています。

職員のある一日

8:15	登庁
8:30	と畜検査(牛)*
12:00	休憩(1時間)
13:00	残留動物用医薬品検査
15:30	打ち合わせ
16:00	事務作業
16:45	終礼(申送り)
17:00	退庁

*と畜検査のシフト
は毎日変わります



先輩職員より

獣医師として成長できる場

私は大動物臨床を経験後、豊橋市に入庁し、食肉衛生検査所に配属になりました。食肉衛生検査所の仕事は、主にと畜場でのと畜検査になります。豊橋市を含む東三河地方は畜産業が盛んで、検査の頭数が多く大変なこともあります。獣医の知識や経験を生かした仕事ができ、とてもやりがいがあります。残業はほとんどなく、仕事後も習い事に通うなど充実した生活が送れています。獣医学に加え法律など学ぶことが多く大変ですが、獣医師として成長できる場だと思います。

（入庁3年目 田中 李紗）

いろいろな業務を経験し自分にあった道を見つけて

令和7年度から産業部農業支援課へ異動となり、農作物鳥獣被害防止事業を担当しています。有害鳥獣による農作物被害の対策を行っており、主に狩猟団体と連絡を取ることが多いです。昨年は自分自身も狩猟免許を取得し、狩猟に関する知識を深めることができました。業務が多岐にわたり苦労することもあります。その分やりがいがあり発見もあり、自分自身のステップアップにつながります。

松下 航（入庁15年目）

総合動植物公園

動植物園（所属獣医師 5名）

広大な敷地と多種多様な動物たち

動物園と植物園、自然史博物館と遊園地が併設された国内唯一の総合公園です。動物園では現在約137種、815頭羽の動物（哺乳類・鳥類・爬虫類）が飼育されており、保全、研究、教育普及に取り組んでいます。

野生動物のスペシャリスト

現在、動物園には動物の安全、動物福祉の向上、教育の機能が求められており、豊橋市の動植物園においても獣医師を中心に取り組んでいます。飼育されている動物たちの治療・疾病予防などの健康管理、園内の衛生管理や希少動物の調整業務に従事しているほか、飼育員や動物研究員と協力して調査研究、教育普及にも携わっています。



先輩職員より

ここでしかできない経験、勉強の毎日

私は小動物臨床と大動物臨床を経験した後に豊橋市に入庁し、食肉衛生検査所勤務を経て、動植物園勤務となりました。家畜類の治療等で前職の知識や経験が活かせる場面もありますが、ここで新しく経験することも多く、勉強の毎日です。動物園の業務は多岐にわたり、大変ではありますが、ここでしか経験できないことも多く、非常にやりがいがあると思います。

橋本 顕嗣（入庁8年目）

市役所 産業部

農業支援課（所属獣医師 1名）

農業王国を獣医師の立場から支える

イノシシやカラスなどの有害鳥獣から、農作物を守るため、有害鳥獣の捕獲を委託したり、防護柵等の購入の補助などを行っています。

先輩職員より

気になる疑問にお答えします

Q. 初任給はどれくらいですか？ 初任給調整手当の支給はありますか？

A. 令和8年4月現在の新卒者の初任給は、月額297,408円（地域手当、公衆衛生獣医師として勤務した場合の初任給調整手当30,000円を含む）です。その他、住居手当：最大28,000円まで、扶養手当：子一人につき13,000円（特定扶養：18,000円）、期末・勤勉手当：年2回、計4.65月分、時間外勤務手当、業務内容に応じて、【と畜検査手当】日額900円、【動物愛護センターの動物飼養管理等手当】日額300円、【動物園の動物飼育手当】日額400円【感染症検査手当】日額300円を支給します。

Q. 勤務時間や休暇について教えてください。

A. 【勤務時間】 月～金曜日 ※動物愛護センター及び動植物園は不定休（4週につき8日休）
8時30分～17時15分 ※食肉衛生検査所は 8時15分～17時00分

【休暇】 有給休暇（年20日）、夏季休暇（5日）、健康保持休暇（2日）、産前産後休暇、出産補助休暇、育児参加休暇、子の看護等休暇、ボランティア休暇、介護休暇など。有給休暇は、1時間単位で取得できます。

Q. どのような研修がありますか？

A. 食肉衛生検査、HACCP、食中毒、感染症対策、動物愛護など各専門分野の知識を深めるため、厚生労働省、環境省、国立保健医療科学院、県などが主催する研修や講習会への参加の機会が多数あります。採用後は、社会人・市職員としての基礎を学ぶ他、様々なメニューが揃う選択型研修を受けます。また、本市では、新規採用職員ができるだけ早く職場に適応し、活躍してもらえるよう、マンツーマンで業務に必要な知識やスキルの指導を行うOJT 制度を設けています。先輩がしっかりサポートしますので安心です。自己研修のための補助金制度、大学院や国際貢献活動のための自己啓発等休業制度もあります。

Q. 過去の受験状況について教えてください。

募集年度	令和3年度		令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度
募集時期	6月	11月	6月	11月	1月	6月	12月	6月	6月
募集人数	若干名	1名	若干名	若干名	1名	若干名	若干名	若干名	3名程度
受験人数	2名	2名	3名	1名	1名	3名	2名	4名	4名
合格人数	1名	2名	1名	1名	1名	3名	1名	1名	2名

日本経済新聞社・日経BP「日経クロスウーマン」実施

Q. 出産や子育て支援について教えてください。

A. 産前・産後休暇（各8週間）、出産補助休暇（2日）、育児参加休暇（5日）、子の看護等休暇（5日／こども1人）、育児休業（最大3年間）を取得できます。

獣医師の女性の割合は約4割で、女性の育児休業取得率は

100%であり、男性職員も育児休業も利用しています。勤務時間を最大1時間までずらすことができるマイスタイル勤務制度や育児のための短時間勤務制度（1日2時間／小学6年生まで）等もあります。



下記までお気軽にお問い合わせください（インターンシップも随時受付中）

獣医師の業務、本パンフレットの問い合わせ先

豊橋市 保健所 生活衛生課

TEL: 0532-39-9124

E-mail: seikatsueisei@city.toyohashi.lg.jp

豊橋市 食肉衛生検査所

TEL: 0532-23-4929

E-mail: shokunikeisei@city.toyohashi.lg.jp



採用試験の問合せ・申込方法

豊橋市役所 総務部 人事課

TEL: 0532-51-2040

E-mail: jinji@city.toyohashi.lg.jp

